

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》ルカによる福音書 17:11-19

びょう じん
病人

イエスはガリラヤ地方を回っていたあ
いだに、たくさんの病人をなおしました。
今日の福音の記事で、イエスが「祭司た
ちのところに行って、体を見せなさい」
と言ったのは、その当時の習慣として、
重い皮膚病がなおると、祭司のところへ
行って、なおった事を証明してもらわな
ければいけなかったのです。つまり、祭
司のところ、重い皮膚病がなおった事
を証明してもらって初めて、街の中を大
きな顔をして歩けるようになるのです。
イエスの時代は、今のように医学が進
歩していなかった、人が病気になる
と、その人が何か悪い事をして悪い霊が
ついたと考えていました。今なら、病原
菌がその人に入って病気になったと考え
ます。

イエスが病人をいやされた事は、ただ
病気をなおす事だけではなかったのです。
病気の原因である罪のゆるしがともなっ
ていました。イエスが病気をいやされた
のはただ不思議なわざを行なって人々を
ひきつけるためでなく、病人が一人の人
間として社会の中で公に生活できる事を
願っていたのです。

現代では確かに医学が発達し色々な病
気がなおされています。でも、たとえ医
学的に健康な人でもたくさんの人が病気
のままです。病気の原因は、回りの人が
その人を一人の人間として大切にあつか
っていない事なのです。今の社会ではじ
やまもの、お荷物として考えられていま
すから、その人のいやしはありえないの
です。

私たちがイエスと同じように病気など
で苦しんでいる人たちと交わる時いやし
は実現されます。